

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

人生の歴史には一定の法則がある 似鳥 昭雄 (ニトリホールディングス社長)

1. 人材育成に力を入れるのは、会社の一番の価値は、技術のある社員の多さだと考えているからです。当社は、一般的な上場会社の 4~5 倍の教育費をかけています。ただ、教育も投資だから、当然回収しなければいけません。社員には投資額の 2 倍以上の成果を出してもらいます。米国に研修にも行かせても、全然変わらなかった社員には二度と行かせません。逆に研修で成長し、大きな成果を出した社員には 3 年ごとに行かせます。
2. ただ、会社はいつどうなるか分かりません。社員には採用時から「会社や社長のために働くななんて考えなくていい」と言い続けています。自己実現のために会社があるのだから、その会社を利用してほしい。どんどん挑戦して、たくさん失敗してもらいたい。その意味で、私は景気が良すぎるのが一番危険だと思っています。社員が何も努力しなくても業績が良くなり、それが当たり前だと思ってしまうからです。その瞬間に社員の成長が止まってしまいます。
3. 企業にとっても逆境の方がいい。なぜなら、他の企業と差が付きやすいからです。たとえ利益が出なくても、不景気の時に次の成長の種を仕込んでおくのが、一番効率がいい。人類の歴史には一定の法則があります。私は景気が良くなる予測は一度もしたことがありません。景気が悪くなった時に何をやるかだけです。

(参考:「日経ビジネス」2015年8月10・17日号)

経営者のための歴史学

日本的規模の人事異動

童門 冬二 (作家)

1. 名前が佐藤さんや斉藤さんなら大体は東北が出身地だ。藤がつく姓は藤原氏にかかわりある、という伝承がある。が、この姓は九州にもある。特に大分県には佐藤さんや後藤さんが多い。歴史の上で日本的規模で大きな人事異動を行ったのが、源頼朝と豊臣秀吉だ。二人とも地域の名族の根を引っっこ抜いて他域に移した。秀吉はこの異動を「大名の鉢植え」と言っている。大名に対して「おまえたちは鉢に植えられた植物にすぎない」という認識を植え付けた。
2. 頼朝は東北の有力者を九州に移し、腹心を東北や中国地方に配置した。佐藤さんや後藤さんはこのときの移動者だ。宮崎県の伊東さんもそのルーツは熱海の先の伊東あたりの豪族だろう。山口の毛利氏 (山口の前は広島) も鹿児島島の島津氏も、出身は神奈川県だ。頼朝のときに移されている。

(参考:「週刊東洋経済」:2015年8月29日号)

ワンポイント経営アドバイス

食品メーカーは無駄が多い

松本 晃 (カルビー会長)

1. 食品メーカーは本当に無駄が多いです。悪いのはメーカーだけではないのですが、小売りに払う販売促進費なんてその典型。目的を顧みずに、支払うのが習慣になってしまっています。商品が安くなって、お客さんに還元されるのはいいですよ。でも、店舗の棚を取るためのだけの棚費や機能なき卸の高いコミッションだとか、そういう投資には賛成しません。
2. 21 世紀のビジネスは、消費者主権の時代です。ところが、多くの食品メーカーは生産者主権から抜け出ていません。自分たちの都合で生きているからこうなるのです。消費者の可処分所得は上がりません。むしろ消費税が上がった分だけ負担は多い。それでも、良いものに対する需要はある。高いものはめったに買えないけれど、おいしいものをリーズナブルに食べたいという願望は不変だと思います。だから、業界の皆で努力して無駄をなくしていかないと。そうするとプライベートブランドが隆盛するのも時代の流れといえます。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2015年8月29日号)

古典に学ぶ

武人の有機的成長

(解説) それは、数十年、数百年におよぶ武人の生涯の有機的成長であった。おそらく武士道は、イギリス憲法が政治上にもつと同じ地位を、倫理の歴史において占めるものである。しかも武士道には、マグナ・カルタヤ人身保護令に相当するものは何一つなかった。

(参考:新渡戸稲造著佐藤全弘訳「武士道」:教文館)